

平成29年度 事務事業評価シート(実施計画事業・経常事業)

事業番号 10

事務事業名	こども夢・チャレンジ推進事業		担当部	こども未来部	担当課	こども政策課								
実施計画	2	年目												
新基本計画	市政戦略編	○	分野別計画編	3	教育・子育て 13	子育て支援 2	地域の子育て・子育てを支援します							
予算区分	一般会計	款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	4	青少年育成費	大	7	中	1
機関法令・個別計画	① 第6次小牧市総合計画新基本計画 ② ③													
目的	何(誰)を対象に	市民												
目的	どの様な状態にするか	「こども夢チャレンジNo.1都市」の実現に向けて、こどもの夢を育み、夢へのチャレンジを応援する事業を展開し、広くその情報を共有することで世代を越えてつながるまちづくりを推進していく。												
手段	どのような事業を実施するか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内産業見学会 小学5・6年生及び中学生を対象に、夏休みに市内企業見学や職業体験を開催する。</li> <li>・ドリームバスギャラリー ピーチバスの車内に園児たちの絵画を掲示し、こどもの夢を共有する機会をつくる。</li> <li>・夢にチャレンジ助成金支給事業 16歳以上 25歳以下の高校、大学、専門学校等の在籍者を対象に、チャレンジしたい計画を発表し、定員6人に上限30万円を助成する。</li> <li>・海外留学奨学金支給 3ヶ月以上海外留学する大学生等を募り、12回を上限に月額3～5万円支給する。</li> <li>・こども夢サポーター制度 こどもの夢を応援する企業や団体等から登録を募り、登録証やこまき山ぬいぐるみを贈呈して、各々の特徴的な取組みをPRしていく。</li> <li>・駒来塾 民間の学習塾等に通っていない中学生を対象に、基礎学力の定着をめざして学習支援を行う。</li> <li>・プログラミング講座 小学4・5・6年生及び中学生を対象に、デジタルのモノづくりを楽しく学ぶ講座を開催する。</li> </ul>												
事業の概要	事業内容													
	年度別事業内容	<p>28年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内産業見学会 ①柵クレスト、柵放電精密加工研究所 19人参加。 ②柵ダスキンプロダクト東海、極東開発工業(株) 16人参加。 ③市民病院看護師体験 20人参加。 ④消防署消防士体験 15人参加。</li> <li>・ドリームバスギャラリー 市内幼稚園(太陽、名北ゼンヌ、旭ヶ丘、市之久田)の年長園児たちが描いた173枚の絵画作品をピーチバスに掲示して、全ての世代が、こどもの夢を応援する啓発の醸成を図った。</li> <li>・夢にチャレンジ助成金支給事業 プレゼンテーションの内容は、「海外での語学研修及びインターンシップ」、「海外の企業訪問」、「海外語学研修」、「人権百人一首の編纂と紹介」。参加者4人と1グループ(5人)に、合計1,262千円の助成金を支給した。</li> <li>・海外留学奨学金支給 2名の応募申請をいただき、選考委員会を開催した。</li> <li>・こども夢サポーター制度 26団体・企業からの応募があり、登録証の交付と「こまき山ぬいぐるみ」の贈呈を行った。</li> </ul> <p>29年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内産業見学会 夏休みに3企業の見学と1企業の体験と見学、病院看護師と警察官の職業体験会を行う。</li> <li>・ドリームバスギャラリー 市内幼稚園(美鳥、美鳥第2)の年長園児たちの絵画作品を掲示して、こどもの夢を共有する機会をつくる。</li> <li>・夢にチャレンジ助成金支給事業 25歳以下の高校、大学、専門学校等の在籍者を対象に、チャレンジしたい計画を発表し、定員6人に上限30万円を助成する。</li> <li>・海外留学奨学金支給 28年度に応募申請された2名が、平成29年8月から留学を開始するため、奨学金を支給する。併せて、6名の奨学金希望者を募集し、選考委員会を開催する。</li> <li>・こども夢サポーター制度 広報等とおして、企業・団体へ登録申し込みを受け付けていく。</li> <li>・駒来塾 モデル事業として北里・東部地区で2教室を、平成29年8月から開設する。</li> <li>・プログラミング講座 定員20人の応募をいただき、平成29年11月から中部大学で開催する。</li> </ul>												

事業費	財源内訳 (千円)	H28		H29
		当初予算額	決算額	当初予算額
	合計	6,218	2,348	7,778
	国支出金			
	県支出金			568
	地方債			
	その他	5,208	1,806	6,111
	一般財源	1,010	542	1,099
	特定財源の説明	こども夢・チャレンジ事業参加者負担金(市内産業見学会) こども夢・チャレンジ基金繰入金		(県)地域協働未来応援事業費補助金(駒来塾) こども夢・チャレンジ事業参加者負担金(産業・プログラミング) こども夢・チャレンジ基金繰入金
事業費	事業費内訳 (千円)	H28		H29
		当初予算額	決算額	当初予算額
	細々節			
	駒来塾講師謝礼	-	-	397
	海外留学奨学金選考委員謝礼	120	60	120
	夢チャレ委員会委員謝礼	122	91	122
	産業見学ボランティア謝礼	30	0	30
	夢サポ取材協力者謝礼	10	0	10
	駒来塾検討委員会委員謝礼	-	-	370
	消耗品費	629	537	526
	食糧費	70	44	69
	印刷製本費	25	24	25
	通信運搬費	46	0	46
	広告料	270	234	270
	保険料	3	3	22
	プログラミング鋼材委託料	-	-	160
	バス借上料	243	92	211
	海外留学奨学金	2,850	0	3,600
	夢チャレ助成金	1,800	1,263	1,800
従事者数	正職員(人数)	0.50	0.50	1.00
	その他職員(人数)	0.00	0.00	0.50

業績及び自己評価	影響を与える展開方向の指標		単位	目指す方向性	基準値	H26	H27	H28	H29
	ステップⅠ	①	夢育み事業に参加したこどもの数	人	→	2,969(26年度)	-	3,258	8,500
	②								
	基本施策の展開方向の指標に対する影響(貢献等)								
H28実施結果	夢育み事業とは、第6次小牧市総合計画新基本計画における都市ビジョン1「こども夢・チャレンジNo.1都市」に向けて実践し、夢を育む環境を創出する事業である。こども政策課で行う事業に加え、文化財団の事業やチャレンジカップU-12、夢の教室等に参加する子どもの数で設定。28年度は事業の拡大とともに、児童館で英語に親しむプログラムに参加したこども数を加えた。								
業績及び自己評価	事業の成果指標		単位		H26	H27	H28	H29	
	①	こども夢・チャレンジ推進事業に参加したこどもの数	人	目標	-	300	300	300	
				実績	-	630	289		
	②			目標					
				実績					
業績及び自己評価	事業の活動指標		単位		H26	H27	H28	H29	
	①	こども夢・チャレンジ推進事業数	事業	目標	-	4	5	7	
				実績	-	4	6		
	②			目標					
				実績					
	事業の目標達成状況とその要因、実績増減の要因、今後の見通し								
H28実施結果	28年度は夢サポーター制度事業が加わって、5事業(市内産業見学会・夢にチャレンジ助成金支給事業・大学生等海外留学奨学金支給事業・ドリームバスキャリヤー・夢サポーター制度)を行った。29年度からは、事業数を増やして展開していく。参加したこども数には、ドリームバスキャリヤーで、27年度は全保育園児の参加だったが、28年は4幼稚園の年長者が絵画参加したので、前年度より減少した。								
業績及び自己評価	要因を踏まえた事業の見直し								
H28実施結果	29年度からは、新たに中学生を対象に学習支援事業「駒来塾」の開設と、小学4・5・6年と中学生を対象にしたプログラミング講座の2事業加えて取組んでいく。ただし、既存事業については、平成30年度を目処に見直しを図り、より効果的な事業実施に向けての検討を29年度から行う。								

一次評価	判定		判定理由
	事業の方向性	拡大	こども達が自身の将来に希望や夢を持ち、その実現に向けてチャレンジしようとする気持ちを喚起させるための支援と環境を整備する必要がある。「こども夢・チャレンジNo1都市」の実現のため、駒来塾の拡充をはじめ、こどもが育む夢の実現が叶えるよう事業を進めていく。
	対象の拡大や手段の充実等により、事業のボリュームを拡大するべきもの		

二次評価	判定		判定理由
	事業の方向性	拡大	一次評価のとおり。
	実計ヒアリング実施要否	必要	
事業の位置づけ	実施計画事業として継続		